

貞奴と花子展

〜欧米に羽ばたいた女性たち〜

2005年10月18日(火)〜12月18日(日)

午前10時〜午後5時 *月曜休館・要入館料

(名古屋市敬老手帳・福祉手帳提示者は無料)

文化のみち二葉館

【名古屋市旧川上貞奴邸】

●主催 文化のみち二葉館、ぎふ「ロダン&花子」の会

1900年のパリ万博で注目を集め、厳しい批評で知られる小説家アンドレ・ジイドも絶賛したという貞奴。

一方、1902年に渡欧。その演技が大評判となり、彫刻家オーギュスト・ロダンのモデルとなった花子。

20世紀の初頭に果敢に海外に進出し、巨匠たちをも魅了した二人の女性の生き様を、岐阜市を中心に1995年より活動している『ぎふ「ロダン&花子」の会』の協力を得て、紹介します。

●主な展示物

ロダン作 花子のマスク「死の顔」「空想に耽ける女」(レプリカ)
絵はがき等



川上貞奴



花子

—ロダン美術館所蔵—



- 入場料 大人200円(団体160円) 小人100円(団体50円)
- 駐車場使用料 1回300円(30分以内は無料)
- 交通のご案内

地下鉄桜通線「高岳」下車、2番出口より北に徒歩10分
名鉄瀬戸線「尼ヶ坂」下車、南に徒歩12分
市バス「飯田町」下車、北に徒歩2分
基幹バス2号「白壁」下車、南に徒歩5分
*駐車台数に限りがありますので、
できるだけ公共交通機関をご利用下さい。



文化のみち二葉館

名古屋市旧川上貞奴邸

〒461-0014 名古屋市東区榎木町3-23
TEL&FAX 052-936-3836
<http://www.futabakan.city.nagoya.jp>

ミュッラー作 ポスター「サダ・ヤッコ」(レプリカ)の一部
—京都工芸繊維大学美術工芸資料館所蔵—



花子 「キムスレ」の舞台写真

貞奴と花子展

〳 欧米に羽ばたいた女性たち 〳



洋装の川上貞奴

「花子」を発表。近年、その波乱に富んだ生涯が数多くの著名人によって明らかにされ、注目を浴びるまでになりました。

*

ともに米国人ダンサー・興行主のロイ・フラーのプロデュースのもとで欧州公演を行い、観客を魅了した日本の女優「貞奴と花子」。彼女らが大好評を博した背景には、日本に対するヨーロッパの人々の憧れがありました。当時欧米では、着物や陶磁器、漆製品、浮世絵などの日本の美術や工芸品が好まれ、印象派の画家たちなどにも大きな影響を与えました。そうした傾向を「ジャポニスム」と呼びますが、そこに登場した貞奴、そして花子は、ジャポニスムの波に乗り、その流れを一段と大きいものにしたと言つてよいでしょう。

貞奴

東京・日本橋の両替商の娘として1871年に生まれた川上貞奴（本

名小山貞）は、幼い頃より芸者置屋の養女として育ち、やがてその芸と美貌から、当時の政府高官に鼻屑にされるほどの売れっ子芸者となります。

23歳の時、壮士芝居で人気を博していた川上音二郎と結婚。1899年、川上一座のアメリカ巡業で初めて舞台に立ち、女優貞奴が誕生します。その後ヨーロッパ大陸に渡り、1900年パリ万博での公演により、「マダムサダヤッコ」の名は一躍有名になりました。

2度目のヨーロッパ巡業から帰国後、帝

花子

花子（本名太田ひさ）は1868年愛知県中島郡上祖父江村に生まれ、10才で旅芸人の一座に入り、その後名古屋で芸者になりました。

1902年、34歳で踊り子として渡欧。日本芝居一座の座長・女優として世界18カ

国を巡業し、スーパースターとなります。1906年、マルセイユの植民地博覧会においてロダンに見出され、花子をモデルとした肖像彫刻が50数点製作されました。1921年末、帰国。晩年の23年間に岐阜市で静かに過ごし、その生涯を終えます。

その間、高村光太郎が花子に会いに岐阜を訪れ、その様子を「小さい花子」に記しています。

戦後はほとんど忘れ去られていた花子ですが、森鷗外の短編小説「花子」の研究をきっかけに1962年、ドナルド・キーン氏が評伝

朗読・長唄・三味線・舞・シャンソンによる
「小さい花子の物語」

11月3日（木）祝 午後3時30分〜4時15分

文化のみち二葉館1階大広間 *要入館料

朗読 なみごろう 朗読／唄 遠藤伸子 舞 璋富佳那恵
三味線 杵屋勝哉 唄 杵屋勝音哉

関連企画2

澤田助太郎氏（岐阜女子大学名誉教授）による講演
「貞奴と花子」

11月23日（水）祝 午後1時30分〜2時30分

榎木倶楽部（井元邸） *無料
名古屋市中区榎木町2-18（文化のみち二葉館より西へ徒歩3分）

応募要領

往復乗車に「講演会参加希望」と明記し、復片に返信先の住所・氏名をご記入の上、文化のみち二葉館（〒461-0014 名古屋市中区榎木町3-23）までお申込ください。締切 2005年11月11日（金）必着
*定員（90名）をこえた場合は、抽選で参加者を決定させていただきます。

〈同時開催〉写真展「その姿」

〳 名古屋女流歌舞伎公演より 〳

11月15日（火）〜20日（日）

文化のみち二葉館 2階和室1・2 *要入館料
主催 NPOむすめかぶき、名古屋市中区文化振興事業団、文化のみち二葉館

問合せ

名古屋市中区市民経済局文化振興室

TEL 052-972-3117

● NPOむすめかぶき事務局

TEL 052-323-4499

FAX 052-323-4575



ロダン作 花子のマスク
「死の顔」（上）
「空想に耽ける女」（下）
（レプリカ）



扇子を持って踊る花子



茅ヶ崎の万松園にて（1902年頃） 写真 右端は川上音二郎